

総合的な学習の時間の目標

横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成するとともに、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に主体的、創造的、協同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにする。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

問題の解決や探究活動の過程においては、他者と協同して問題を解決しようとする学習活動や、言語により分析し、まとめたり表現したりするなどの学習活動が行われるようにする。

互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる事例

- 1 学年 第2学年
- 2 単元名 「働くということ」を考えよう
- 3 単元の目標

職場体験活動や社会で働く様々な人と関わる学習活動を通して、「働くこと」に対する人の思いや考え方を感じ取り、働く意義や自分と社会との関わりについて考え、その成果を生活の中で生かそうとする。

4 言語活動の充実の視点

- 視点1： 5日間の職場体験から感じたことや得た情報の分析を通して、新たな発見や気付きを見だし、追究課題の答えを考える。
- 視点2： 追究課題の答えを基に、自己の「働くということ」についての考えを伝え合い、互いの考えを広げたり深めたりする。

5 主な学習活動（60時間）

段階	学習活動
第一次 (15)	<ul style="list-style-type: none"> ・第一学年で調べた職業の特徴や新たに文献等から調べた様々な職業の特徴を整理し、職業の必要性を考える。(5) ・ウェビング等を用いて、「働くこと」についての自分の捉え方を見つめたり、伝え合ったりする。(2) ・職場体験活動を行う事業所に事前の調査を行い、自分たちの捉えとのずれを分析したり、疑問を創出したりして追究する具体的な課題を設定する。(8)
第二次 (35)	<ul style="list-style-type: none"> ・追究課題を基に、職場体験活動の目標や探究計画を立て、職場体験活動（5日間）を行う。(34) ・課題について探究した結果をまとめ、事業所からコメントをもらい、再度結果をまとめる。(1)
第三次 (10)	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験活動で得た結果を分析し、追究課題の答えを考える。(5) 視点1 ・追究課題の答えを基に、「働くということ」についての新たな気付きや今後の自己の関わりを明らかにし、報告書にまとめたり、互いに伝え合ったりする。(9) 視点2

探究のプロセスと言語活動

- 総合的な学習の時間の目標を実現するためには、以下の探究のプロセスを意識することが必要です。
【課題の設定】【情報の収集】【整理・分析】【まとめ・表現】
- 探究のプロセスには、体験活動と言語活動を適切に位置付けます。
- その際、主に以下の二場面において、言語活動を充実させましょう。
 - ・体験したことや収集した情報を整理したり、分析したりして思考する場面
 - ・他者に伝えたり、自分の考えをまとめたりする場面

他者と協同して取り組む学習活動と言語活動

- 探究のプロセスにおいては、他者と協同して問題を解決する学習活動を重視します。
- 協同して問題を解決する学習においては、言語活動の充実を図ることにより、以下のような価値を生み出すことが大切です。
 - ・多様な情報の入手によって分析や考察の質を高める。
 - ・異なる考えを持つ他者を尊重し、自らの役割を自覚する。
 - ・力を合わせたり交流したりすることの大切さや喜びを実感する。